

【報告様式】

担当課・担当者	企画財政課、地域産業推進課
交付対象事業名	地方創生推進交付金：まちづくり会社を核とした「しごと・交流」創出事業
事業概要	地方創生推進交付金では、これまで加速化交付金で進めている「まちづくり会社を核とした「しごと・交流」創出事業」をさらに深化・展開することとしている。推進交付金は3年間継続事業として位置づけ、まちづくり会社を設立し、設立起業支援部門、観光部門、定住サポート部門、農業部門を展開することとしており、1年目事業として国内に向けて広く蔵の町並みと町の魅力を発信する事業を展開する。主な事業として、「蔵の町プロモーションPR業務」にて町のPR動画を作成し、広く国内外へ広報・配信プロモーションすることとしている。また、今後の交流人口・定住人口の増を図るため、町内特産物商品化・販売促進と観光推進を組み合わせ、「村田IC」～「道の駅」～「蔵の町並み」～「民話の里」～「菅生スマートインターチェンジ」という周遊ルートプランの企画を行う。

本事業における重要業績評価指数（KPI）に関する成果及び検証

宮城県唯一の重要伝統的建造物群保存地区を中心とした生活や暮らし公式プロモーションビデオを制作し、村田で暮らす、ありのままの日常を見せ「住んでみたい」と思えるきっかけをつくり、交流・定住人口の増を図る。定住者数は、町外からの移住者を含め61人であった。

本事業における重要業績評価指標（KPI）	本事業終了時（目標）	成果及び検証とその根拠について
新規起業者・就農者数（H27年度：0件）	2件	新規起業者数 2件
新商品開発件数（H27年度：0件）	0件	新商品開発件数 0件 ※次年度以降に繋がる施策となった。
定住・移住者数（H27年度：0人）	20人	定住者数 H28年度 61人 ※定住促進事業補助金交付世帯調査、空き家バンク入居者調査

村田町地方創生推進委員会からの意見

●移住者向けのPRビデオだけではもったいない。道の駅で写すなどして蔵の町並みに呼び込む材料となるのではないかと。良く出来過ぎていると言われないうちに、蔵の景観整備も必要。

●今後の第2弾にも期待している。蔵の町並み以外にも魅力がある。